

名護中学校の教育目標

まこと

真を見極め 未来を拓く創造力 清く気高く 健康な生徒

真という字は 名護中の学場真素の真 そして真剣・真^{まごころ}心に通ずるものです。
真という字には 「うそがなく 人に対してやさしくある」という意味があります。
“偽り飾らず、親切にして欺かず”

「真を見極める」とは 「“正しさ”や“やさしさ”を問うこと」です

まず 自分のことです。

自分は 潔くあれたか…。うそのない心だったか…。

自分に やさしさは あったか…。

そして 色んな事に対して

それは 正しかったか…。そこに やさしさは あったか…。を問うこと。

まとめると「自分を見極め(問う) 他を見極める(問う)」です。

様々な見方を働かせて
“物事を捉える力”

「未来を拓く創造力」とは 「強い心で頑張り続ける力」「真剣に学ぶ力」です

どんな困難や問題にぶつかっても

様々な考え方を働かせて“思考する力”

「何とかしてみよう」「解決してみよう」そして「真剣に学ぼう」

という強い心で頑張り続ける力です。「文部両道」「切磋琢磨」に通じます

このような 心意気を「名護マサー」といいます。

名護中の“心意気”

「名護らん」は 名護中学校の校章にあって 名護中のシンボルとしての「名護らん」
校歌の三番で謳われている「名護らん」です。

「清く気高く」とは 「けがれの無い気品・正義感とやさしさに満ちた姿」です

何があっても どんなときでも

名護中の“真の心”

大きな心・広い心で 気品・正義感・やさしさを大切にしている姿です。

「健康」という言葉には 心も体も すこやかで 元気 の意味があります

校歌四番の「うらうらと心なごみぬ うらら我等 心もうらら」に通じます。

名護中学校 教育目標の目指すところは

「名護マサー」の心意気で 何事にも「真剣・本気」で取り組むこと

「名護らん」に象徴される 気品・正義感・やさしさを持っていること

○名護マサーの心意気 ○名護らんのような気品

そのような

“名護中生の誇り”
“名護人(なぐんちゅ)”

「名護中生の誇り」をもって活動し、成長し。将来 社会で活躍する名護人です。